令和８年度　第３回　学校運営協議会　会議録（要点記録）

１ 開 催 日 時　令和８年１０月２８日（水）午後１時１０分から午後３時１０分まで
２ 開 催 場 所　気賀小学校第１会議室
３ 出 席 委 員　田力祐二、山田真代子、山下年弘、杉山秀勝、小林伸郎、荒谷朋子、富田彩夏、宮木理恵、外山理沙、新海知佳
４ 欠 席 委 員　なし
５ オブザーバー　山中昭典（細江協働センター・コミュニティスクール担当）
６ 教育委員会　山本俊行（学校・地域連携課）
７ 学　　校　石野政史（校長）、内山忠久（教頭）、桔川俊介（教頭）、太田恵理子（主幹教諭）、水津健太郎（ＣＳ担当）、内山尚子（ＣＳディレクター）
８ 傍　聴　者　なし
９ 会議録作成者　ＣＳディレクター　内山尚子

10 議 長 の 選 出

前回運営協議会後に、議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から田力会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協 議 事 項

あかるく・いきいき・みりょくある学校の創造に向けた取組について（グループ協議）
①本校の職員の勤務・業務内容に関するアンケート集計
②学校と地域・保護者が協働で取り組めること

12 会 議 記 録

司会の内山教頭から、委員総数１０人全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

【熟議】あかるく・いきいき・みりょくある学校の創造に向けた取組について

議長の指示により、内山教頭から、本校の職員の勤務・業務内容に関するアンケート集計について別冊プレゼン資料に基づき説明があり、学校と地域・保護者が協働で取り組めることについてグループに分かれて熟議し、委員からは以下の発言があった。

〈Ａグループ：田力会長、杉山委員、荒谷委員、新海委員、富田委員、太田主幹〉
〈Ｂグループ：山田委員、山下委員、小林委員、宮木委員、外山委員、水津ＣＳ担当〉

１　困りごとの具体化と情報発信の強化

・　学校が何に困っているのかをシンプルかつ具体的に伝えることが重要である。
（ＣＳ便りで水やりボランティアを募集した際、支援者が大幅に増加した実績あり。）

２　行事・環境整備における保護者・地域の活用

・　**行事の準備・片付け**：事前アンケート等で参加可能な保護者を募り、保護者主体で

任せられる部分は分担していく。

・　**環境整備・花壇管理**：学校側が無理に抱え込まず、支援を希望する地域ボランティアへ積極的に頼る体制をつくる。

・　**安全見守り・児童移動の支援**：バス移動時の安全確保、雨天時の送迎・誘導など、ボランティアが協力できる範囲を順次拡大する。

３　持続可能な協働体制の構築

・　個人のつながりや特定の関係性に依存せず、仕組みとして地域全体に広がる協力体制を構築する。

学校側からの受け止めと今後の方向性（石野校長）

・　**学校の年齢構成と人材育成の課題**：本校は30代の中堅層が少なく若手が多く、50代の学年主任が中心となって若手を指導・育成しているが、主任層への業務集中が構造的な課題となっている。

・　**今後の取り組みと方針決定**：持久走記録会等の行事運営を含め、保護者や地域と広く連携して取り組める手応えを得た。次回の運営協議会に向けて、学校運営の基本方針にこれらの熟議内容を反映させていく。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項

・　**全国学力・学習状況調査・生活リズムチェック・新体力テスト結果**

学力面：多くの項目で県の平均値を上回っているものの、英語に対する苦手意識や、読書・新聞閲覧の習慣の少なさが課題として見られる。また、タブレット（ICT）活用の推進に伴い、紙に書く習慣や筆算の枠を揃えて正しく記述する基礎指導の徹底も継続して行う。

体力面：種目によって数値にばらつきが見られるため、今後の体育指導や運動機会の確保に活かしていく。

・　**学校運営協議会の自己評価の実施**

委員へ配布した自己評価シートに各自記入し、次回運営協議会時に集約して今年度の協議会全体の総括評価を行う。

・　次回議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から田力会長を推挙する旨の発言があった。

・　次回会議は、令和９年１月２９日（金）午後１時１０分から第１会議室で開催する旨の報告があった。